

マーケット > 企業業績・財務 > 新規上場企業の横顔 > 記事

ピアラ ECマーケティング支援

2018/11/29 10:08

保存 共有 印刷 その他▼

電子商取引（EC）事業者に対して、新規顧客の獲得や、継続購買してくれる優良顧客の育成といったマーケティングを支援する。過去の施策の特徴と得られた売上高の関係を人工知能（AI）に学習させ、商材に応じてディスプレイ広告やSNS広告、ダイレクトメールなど複数の手法と予算配分を最適に組み合わせる。顧客獲得や購入品数の増加などの成果に応じて報酬を得る。

化粧品やエステ、健康食品など消費者の購入が頻繁な商材に支援先を特化し、豊富な蓄積データを基に予測精度を高めている。日本の化粧品の需要がアジア各国で拡大するなか、越境ECの支援も始めた。

上場で調達する資金はAIの機能強化のための投資などに使う。成長投資を優先するため2018年12月期は無配とするが、飛鳥貴雄社長は「早ければ19年12月期、遅くても20年12月期には配当したい」と語る。

[＜12月11日 東証マザーズ上場＞](#)

【12月11日 東証マザーズ上場】

(東京都渋谷区、飛鳥貴雄社長、03・6820・0730)

上場時発行済み株式数(株)	3,481,840	
公募株式数(株)	350,000	
売り出し株式数(株)	90,000	
オーバーアロットメントによる売り出し株式数(株)	44,000	
申込期間	12月4～7日	
払込期日	12月10日	
主幹事	SBI証券	
会計監査人	あずさ監査法人	
証券略称	ピアラ	
	2017/12	2018/12
		(予)
売上高(百万円)	7,291	10,953
純利益(百万円)	19	253
1株利益(円)	10.50	72.66
1株配当(円)	0	0

画像の拡大